



## 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所 東  
 コード番号 6186 URL http://www.ichikura.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 渡邊 正樹 TEL 03-5288-7111 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	7,988	2.3	130	△38.8	144	△35.1	72	△40.7
30年3月期第2四半期	7,808	7.3	212	△59.4	222	△58.0	121	△63.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 57百万円 (△56.7%) 30年3月期第2四半期 132百万円 (△61.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	13.37	—
30年3月期第2四半期	22.41	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	17,776	5,787	32.6	1,067.70
30年3月期	17,497	5,863	33.5	1,086.91

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 5,787百万円 30年3月期 5,863百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,060	4.1	832	3.3	832	0.2	471	△20.1	87.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	5,505,533株	30年3月期	5,496,283株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	85,400株	30年3月期	101,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	5,405,570株	30年3月期2Q	5,443,552株

（注）自己株式については、当第2四半期連結会計期間末に一蔵従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成30年11月2日（金）に四半期決算補足説明資料をT D n e tへ開示後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調となりましたが、個人消費については可処分所得の伸び悩みや根強い低価格志向・節約志向の定着により先行き不透明な状況で推移いたしました。

## (和装事業)

呉服業界におきましては、産地工場の職人など作り手の高齢化や消費者のライフサイクルの変化などの影響により市場の縮小傾向が続いておりましたが、昨今、振袖を中心としたレンタル需要や着方教室をきっかけに呉服販売等が盛んになりつつあること、以前は資産として高価な着物を所有し特別な機会にのみ着用することが多い傾向にありましたがファッションとして“着て”楽しむ消費者層が増加（「所有」から「使用」へと変化）するなどの兆しが見られること、また、経済産業省が国内和装産業の振興を図るため一般社団法人全国きもの振興会が定める「きもの日」（11月15日）に和服で執務を行う取り組みが行われるなど、引き続き大きな市場があると考えております。

このような環境下におきまして、当社グループは、積極的な広告宣伝や当社グループ店内外で開催いたしました催事が功を奏し、特に一般呉服や振袖の販売及び成人式の前撮り写真撮影の受注が大きく伸長したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の和装事業の売上高は5,840,511千円（前年同四半期比7.4%増）となり、セグメント利益は460,125千円（前年同四半期比23.0%増）となりました。

## (ウエディング事業)

ウエディング業界におきましては、少子化により結婚適齢期を迎える人口が減少していることや未婚化などの影響により婚姻組数の減少傾向が続いている（厚生労働省「平成29年（2017）人口動態統計の年間推計」）一方、市場規模は1兆4千億円近辺をほぼ横ばいで推移（矢野経済研究所「ブライダル市場に関する調査結果2018」）しております。

このような環境下におきまして、当社グループは、広告やブライダルフェアのコンテンツの見直し、挙式・披露宴を演出する新サービスの提供などに努めてまいりましたが、同業他社の出店やリニューアルに伴う競合影響による施行組数の減少や施行単価を押し下げる少人数婚の施行組数の増加、平成29年8月にリニューアルオープンしたネオス・ミラベルに係る減価償却費の発生などにより、当第2四半期連結累計期間のウエディング事業の売上高は2,147,981千円（前年同四半期比9.4%減）となり、セグメント利益は52,348千円（前年同四半期比78.5%減）となりました。

## (全社)

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,988,492千円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益130,351千円（前年同四半期比38.8%減）、経常利益144,174千円（前年同四半期比35.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益72,292千円（前年同四半期比40.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は17,776,312千円（前連結会計年度比1.6%増）となりました。

流動資産の残高は8,521,669千円（前連結会計年度比3.3%増）となりました。これは主に現金及び預金が189,159千円増加したことによります。

固定資産の残高は9,254,643千円（前連結会計年度比0.1%増）となりました。

負債につきましては11,989,216千円（前連結会計年度比3.0%増）となりました。

流動負債の残高は9,116,490千円（前連結会計年度比6.2%増）となりました。これは主に短期借入金が450,000千円増加したことによります。

固定負債の残高は2,872,725千円（前連結会計年度比5.9%減）となりました。これは主に長期借入金が196,821千円減少したことによります。

純資産につきましては5,787,095千円（前連結会計年度比1.3%減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益72,292千円を計上した一方で、配当金を159,392千円支払ったことによります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、連結財政状態については、遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月10日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,800,707	3,989,866
売掛金	832,423	633,075
商品	1,810,095	1,920,230
レンタル商品	1,137,988	1,153,489
仕掛品	322,527	320,764
原材料及び貯蔵品	88,255	125,081
その他	258,445	379,160
流動資産合計	8,250,444	8,521,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,328,077	5,287,761
土地	1,360,548	1,360,548
建設仮勘定	133,051	157,474
その他（純額）	445,012	436,839
有形固定資産合計	7,266,690	7,242,623
無形固定資産		
ソフトウェア	113,573	109,800
のれん	80,531	68,141
その他	312,752	340,554
無形固定資産合計	506,857	518,496
投資その他の資産		
投資有価証券	265,124	264,337
出資金	10	10
敷金及び保証金	988,609	1,008,254
繰延税金資産	198,477	199,991
その他	21,771	20,929
投資その他の資産合計	1,473,993	1,493,522
固定資産合計	9,247,540	9,254,643
資産合計	17,497,984	17,776,312

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	681,143	547,798
短期借入金	2,220,000	2,670,000
1年内返済予定の長期借入金	532,605	406,712
未払金	418,143	426,618
未払費用	336,317	304,449
未払法人税等	158,965	119,702
前受金	4,144,000	4,478,014
預り金	28,523	36,018
賞与引当金	4,745	6,300
その他	56,340	120,876
流動負債合計	8,580,783	9,116,490
固定負債		
長期借入金	2,005,256	1,808,435
資産除去債務	283,389	295,343
退職給付に係る負債	394,525	409,363
役員退職慰労引当金	11,400	11,963
その他	359,195	347,620
固定負債合計	3,053,766	2,872,725
負債合計	11,634,550	11,989,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,012,699	1,016,468
資本剰余金	1,001,998	1,005,767
利益剰余金	3,932,874	3,845,775
自己株式	△112,670	△94,612
株主資本合計	5,834,902	5,773,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,883	36,875
為替換算調整勘定	△9,351	△23,180
その他の包括利益累計額合計	28,531	13,695
純資産合計	5,863,433	5,787,095
負債純資産合計	17,497,984	17,776,312

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	7,808,732	7,988,492
売上原価	2,981,196	3,037,489
売上総利益	4,827,535	4,951,003
販売費及び一般管理費	4,614,666	4,820,651
営業利益	212,869	130,351
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,983	3,607
受取手数料	4,544	5,402
受取補償金	3,831	3,402
その他	9,553	15,046
営業外収益合計	20,913	27,458
営業外費用		
支払利息	10,905	11,160
その他	631	2,474
営業外費用合計	11,537	13,635
経常利益	222,245	144,174
特別利益		
固定資産売却益	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
固定資産除却損	2,291	1,378
特別損失合計	2,291	1,378
税金等調整前四半期純利益	219,953	142,808
法人税、住民税及び事業税	91,889	72,249
法人税等調整額	6,077	△1,734
法人税等合計	97,967	70,515
四半期純利益	121,986	72,292
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,986	72,292

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	121,986	72,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,838	△1,007
為替換算調整勘定	—	△13,828
その他の包括利益合計	10,838	△14,836
四半期包括利益	132,825	57,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,825	57,456
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウェディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,438,885	2,369,846	7,808,732	—	7,808,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,438,885	2,369,846	7,808,732	—	7,808,732
セグメント利益	374,040	243,205	617,246	△404,377	212,869

(注) 1. セグメント利益の調整額△404,377千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウェディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,840,511	2,147,981	7,988,492	—	7,988,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,840,511	2,147,981	7,988,492	—	7,988,492
セグメント利益	460,125	52,348	512,474	△382,123	130,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△382,123千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。